

Wax Breaker

MGO・MDO用 低温流動性改善型燃料油添加剤

Wax Breaker は、MGO・MDO 向けに開発された、低温時の流動性を改善する燃料油添加剤です。本製品は、低温環境下において燃料油の流動性を向上させることで、燃料タンク内での固形化を抑制し、エンジンルームまでの燃料油輸送を円滑にします。

特 性

冬季、または温暖な地域から寒冷地へ航海する際には、燃料油タンク内の温度低下により、低温流動性の劣る燃料油（下写真参照）が固形化し、燃料油ポンプによる移送が困難になる場合があります。

Wax Breaker は、このような低温時に発生する燃料油トラブル（燃料油タンクや配管内での固形化など）の予防および対策を目的とした、低温流動性改善型の燃料油添加剤です。

○ 流動性（目詰まり点、流動点）の改善効果

Wax Breaker により、各種 MGO および MDO の流動性が大幅に改善されます。（下図参照）

標準添加率は燃料油に対して 1/2000 ですが、燃料油性状によっては 1/2000～1/500（推奨添加率）の範囲で添加することで、目詰まり点のさらなる改善効果が期待できます。



低温流動性が悪い燃料油
(高流動点の燃料油)



上記トラブル油に
Wax Breaker を添加

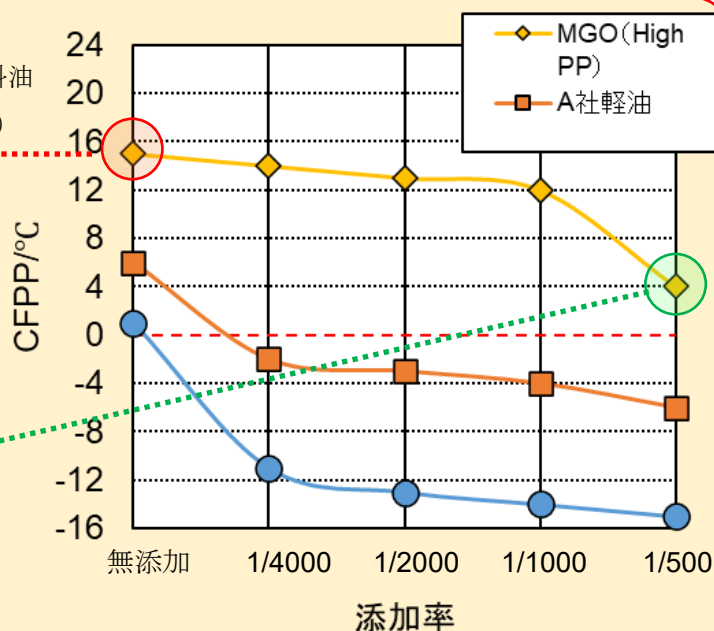


図. 燃料油の目詰まり点と添加率の関係

進取の気象をモットーに

 日本油化工業株式会社



←お問合せはこちらまで。
(<https://www.nipponyuka.jp/>)



性 状

- 外 観 : 無色～微濁淡黄色液体
- 密 度 : 0.91 g/cm³@15°C
- 引 火 点 : 66°C (PM 法)
- pH : -

使 用 方 法

- Wax Breaker の標準添加率は燃料油量に対して 1/2000 です。
※燃料油の種類や性状により、燃料油量に対して 1/2000～1/500（推奨添加率）の範囲で添加してください。
- Wax Breaker を添加する場合は、補油時、または燃料油が固化する前の、十分に流動性のある液体状態で行ってください。
※Wax Breaker は、燃料油の固化を抑制する添加剤です。
すでに固化した燃料油を再溶解する効果はないため、低温により固化する前に、燃料油と混合されるように注入してください。
- Wax Breaker は燃料油との混合性に優れていますが、補油前に燃料油貯蔵タンクへ Wax Breaker を投入し、その後に補油を行うことで、より混合が促進されます。

使用上の注意

- 本製品の使用方法を良く守り、記載外の方法では使用しないでください。
- 使用時は防護眼鏡・マスク・耐油性手袋などの保護具を着用してください。
- 引火性がありますので、火気に注意してください。
- 体調不良を感じた場合は使用を中止し、医師の診察を受けてください。

取扱上の注意

- 製品劣化や容器不具合の恐れがあるため、別の容器に移し替えて保管しないでください。
- 火気厳禁。
- 変質の恐れがあるため、50°C以上の高温および 0°C以下の低温での保管は避けてください。

荷 姿

		重量 (kg)	寸法 (W×D×H、cm)
○	200L ドラム缶	201.5	φ58.5 x 89
○	18L 石油缶	17.4	23.8 x 23.8 x 35

関 連 法 規

- 消防法 : 危険物第 4 類 第 2 石油類 危険等級 III